

異国

文永の役750年

2023 12.16 sat ▶ 2024 3.9 sat

鎌倉歴史文化交流館
Kamakura Museum of History and Culture

©主催／鎌倉歴史文化交流館(鎌倉市教育委員会) ©会場／鎌倉歴史文化交流館・別館・考古展示室 ©開館時間／10:00～16:00(入館は15:30まで) ©休館日／日曜・祝日
©観覧料／〔一般〕400〔300〕円〔小・中学生〕150〔100〕円 ©住所／〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1 ©アクセス／JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分。
©TEL／0467-73-8501 ©FAX／0467-73-8545 ©E-mail／rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp

※〔〕内は20名以上団体料金 ＊本料金で本館平常展示もご覧いただけます。
＊身体障がい者手帳の交付を受けた方と付添1名、鎌倉市に通学している小学生から大学生及び市内在住の方は観覧料が無料となりますので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。

— 東アジアと鎌倉の中世 —

龍来

文永の役750年

異国 襲来

— 東アジアと鎌倉の中世 —

鎌倉時代、東アジアは大きな変革期を迎えていました。1206年に建国されたモンゴル帝国（後の元）は、アジア全域に勢力を伸ばし、文永11年（1274）と弘安4年（1281）、ついに日本へ侵攻します。この時、最前線に対応したのが鎌倉幕府でした。鎌倉幕府は元からの使者に対峙する一方で、九州の防備を固めるとともに、寺社に異国降伏の祈禱を命じ、侵攻に備えました。

しかし、不安定な社会の中にあっても、鎌倉と中国大陸との交流が止むことはありませんでした。二度の襲来以降も文物がもたらされ、禅僧をはじめとする多くの人々が鎌倉を訪れました。中国大陸の文化との融合によって、新たな文化が鎌倉に花開き、隆盛の時代を迎えます。

近年、長崎県松浦市の鷹島沖に沈んだ元軍船の発見や、絵巻や文字史料の検討によって、二度に及んだモンゴル襲来の具体的な姿が明らかになりつつあります。本展では、鎌倉の人々に衝撃をもたらした襲来の実像に迫るとともに、当該期を経て花開いた鎌倉の文化的側面をあわせて紹介します。

鷹島海底遺跡の遺物の展示は1月19日～



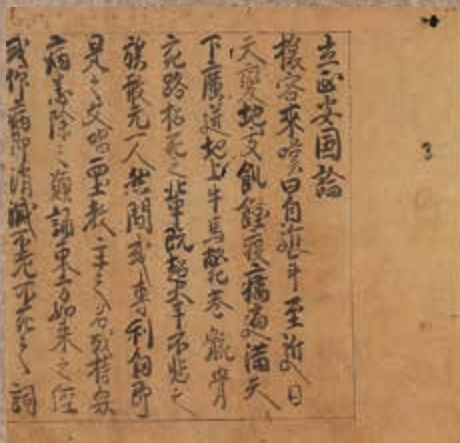
管軍総把印（松浦市教育委員会蔵）（複製） ■展示は1月19日～



てつほう（松浦市教育委員会蔵） ■展示は1月19日～



蒙古襲来絵詞模本（個人蔵）



立正安国論（妙本寺蔵）



立正安国論
寺田宗元



北条時宗下文（鎌倉国宝館蔵）

鎌倉歴史文化交流館

開催期間 / 令和5年(2023)12月16日(土)～令和6年(2024)3月9日(土)

開館時間 / 10:00～16:00(入館は15:30まで)

休館日 / 日曜・祝日

観覧料 / 〔一般〕400〔300〕円 〔小・中学生〕150〔100〕円*

住所 / 〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷1-5-1

アクセス / JR鎌倉駅・江ノ電鎌倉駅から徒歩約7分

T E L / 0467-73-8501 F A X / 0467-73-8545

Eメール / rekibun@city.kamakura.kanagawa.jp



©Forward Stroke inc



*〔 〕内は20名以上団体料金 *本料金で本館平常展示もご覧いただけます。

*身体障がい者手帳の交付を受けた方と付き添い1名、鎌倉市に通学している小学生～大学院生及び市内在住の方は観覧料が無料となります。

ので、受付に身分証・手帳・学生証・カード等を提示してください。

*一般用の駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。*障がい者専用駐車場をご利用の方は事前にご連絡ください。